文化の風 南から

枕崎の芸術・文化の各分野で活躍している方々のエッセイを毎月紹介します。

誠心誠意、伝えること

1月5日から南溟館で開催される写真展「“パソ・デ・ゼブラ”ー歩んで渡って。」は、横断歩道を渡る人々を撮った日々がテーマ

写真を撮り始めて、かれこれ20年ぐらいになります。今でも、いや、今だからこそ、なぜ写真を撮るのかと自分に問うことがあります。私の写真の原点とは、何だろうか。

それは、「伝えること」です。

コミュニケーション、こちらからそちらへ、あるがままを伝えること。心をつくして、誠心誠意、伝えるということです。

私は、バルセロナで長年スペイン語の通訳を生業としてきました。コミュニケーション、伝えるということを専門にする職業です。

経験で悟ったことは、言葉は手段、道具にすぎないということでした。通訳が話し手の言葉と意思にいかに忠実であるかによって、聞き手の理解と印象は、全く異なります。例えば、言葉に忠実であっても、情熱的に話す人の意思を無視して、単調な話し方で通訳したらどうでしょう。話し手の思いは伝わらないと思います。通訳者と話し手のコミュニケーション、つまり意思疎通がうまくいっていないからでしょう。

言葉は手段であって、大切なのは、話し手の意思と伝えようとする心です。

カメラという物体は、手段、道具にすぎない。おまけにとても堅い素材です。だからとっさにカメラを向けられると、いやな気分になる人も多いと思います。それは、被写体と撮る側にコミュニケーションがないからです。目の前の素晴らしい光景を永遠に写真に残そうとしても、うまくいかない。カメラの向こう側の人物や風景や光景と、本気で繋がっていないからでしょう。

世界的に有名な報道写真家たちと、現場で一緒になったことがあります。気さくで控えめな人が多いのですが、一瞬を逃さず、自分だけの個性ある写真を撮ります。目の前の光景は、全く同じなのに、撮る側の感性によって、全く違う写真になる。だからカメラという物体は、手段、道具にすぎない。じっと構えて、目の前の偶然を逃さず、捉えていく姿は、アート、芸術です。すべては、今このとき、一度きりの瞬間の連続が、永遠なのですから。

私が最初に出逢ったアーティストは、チャールズ・チャップリンでした。当時私は10歳ぐらいで、テレビで見る彼の白黒サイレント映画が大好きでした。

映画は、空間と時間を融合させた、第7の芸術といわれますが、愉快なことを自分で作って、演じて、楽しんでいる姿に感嘆した記憶があります。小学校卒業文集の将来の夢が映画監督だったくらい、彼のように何かを創れたらいいなあと憧れていました。

映像に関連した通訳やコーディネーターをさせてもらったり、通訳の仕事自体が、人生で学ぶためのステップだったのかもしれません。

誰もが自分の人生の映画の監督であり、主役なのですから、アーティストなのです。アートとは、絵画や建築や音楽だけではないと思います。美味しいお茶を入れるのも、人を笑わせるのも、掃除が上手いのも、とことん本気で心のこもったことは、芸術だと思います。

これからも心をつくして写真を撮り続けて生き、そして歩み続けたいです。

上釜 理恵子(49)
うえかま・りえこ

桜山町在住。1990年にスペインのバルセロナに渡る。日系旅行会社等のオフィスワークを経て、2001年より主に通訳、雑誌・コマーシャル撮影等の現地コーディネーターとして活動。2013年に枕崎に帰省し、現在は写真を中心に活動。スペインや枕崎でのグループ展、個人展で作品を発表するなど活躍中。

新刊紹介

●黒田官兵衛
オフィス五稜郭(編集)

○ほんとのおおきさ てがたあしがた図鑑
小宮 輝之(著)

注目本

●耳ひっぱり／藤本 靖(著)
●ＪＲ九州のひみつ／ＰＨＰ研究所(編)
○浦田理恵 見えないチカラとキセキ／竹内 由美(著)
○おつかいくん／鈴木 のりたけ(作)

●一般書　○児童書

ホームページに、すべての新着本の情報を掲載しています。ぜひご利用ください。
※図書館内掲示板（玄関前）、1・2階カウンターの新着本リストでもすべてご覧いただけます。

祝成人！フレッシュなあなたにすすめる本展

期間　1月5日(日)～19日(日)
場所　1階カウンター前

かあちゃん取扱説明書
いとう みく(著)

神去なあなあ夜話
三浦 しをん(著)

ほりだしものたくさん！古本市

日時　1月8日(水)　午前9時30分～
場所　玄関ロビー

ふれあい図書館まつり

日時　2月16日(日)　午後1時30分～4時
※受付は午後1時～
場所　サン・フレッシュ枕崎

図書館だより No.261

市立図書館　☎72-9254
ホームページ　http://library.makurazaki.net
★開館時間 9：30～18：00

カレンダー　1月10日～2月9日

日	月	火	水	木	金	土
				1月	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	2月 1
2	3	4	5	6	7	8
9						

□休館日　※20日(月)～31日(金)は、本の特別整理(蔵書点検)のため休館します。

クイズ！カツオぢりル

■明けましておめでとうございます。今年もカツオドリルを宜しくお願い致します。午年ですので馬にちなんだ問題です。枕崎市には地区毎に伝承されている郷土芸能が多くありますが、秋の市で「馬方踊り」を披露したのは次のうちどの地区でしょうか。

①山下　②水流
③塩屋　④田中

【先月の答え】③僧侶

今月のプレゼント

無添加だしパック（3名様）
【提供】地場産業振興センター

お便り紹介

私は、早朝の薄暗い中でのウォーキングを楽しんでいます。行き交うとき、お互いの「おはよう」の言葉で私の警戒感と孤独感が癒され、お互いの絆を感じています。そして路地裏でのしばしの幸福感を味わっています。（岩戸町・アメボケ・74・男性）

アメボケさん、お便りありがともさげもす。かねてから、健康に気をかけていらっしゃるようですね。私も昨年、早朝散歩を試みたのですが一日坊主でしたがよ。まちを歩く皆さんが、誰とでん挨拶を交わせるようになれば、明るくなりますね。まだまだ寒んか日が続きますが、ウォーキングとご挨拶で体も心もポカポカになりますように。

●●●

先日、ある新聞の経済面に「枕崎の鰹節業者、共同でフランスに工場建設！」という記事が載っていました。明治から昭和にかけて、枕崎の先人たちはカツオの漁場を求めて、遥か南の海へ漕ぎ出したと聞いております。日本の製造業が、コストの安い中国や東南アジアに進出する話は珍しくありませんが世界の食文化の中心・フランスへ「枕崎のイデ小屋」が…。何とも頼もしい話ですね。欧州人に鰹の旨味が伝わるかどうか、わかりませんが陰ながら、成功を祈りたいものです（愛知県・カツオ腹皮・男性）

カツオ腹皮さん、愛知県からお便りありがともさげす。枕崎に鰹節の製法が伝来して300年余り、枕崎市の伝統産業として今も日本中の食卓で活躍する鰹節の旨味はきっとフランス人も「セボ～ン（フランス語のうんまが）ち言う事でしょう。「和食」もユネスコ無形文化遺産に登録されました。枕崎鰹節が世界中のキッチンで踊る日も遠くないかも。

★応募方法　郵送もしくはメールにて、氏名・ペンネーム・住所・電話番号・年齢・性別・クイズの答え・本紙へのご意見やご要望、枕崎への想いや身近にあった出来事などを記入の上応募ください。いただいたお便りは、ご紹介させていただく場合があります。文章は添削させていただく場合があります。

★応募先　〒898-8501　枕崎市千代田町27番地「枕崎市役所総務課秘書広報係」宛
E-mail：koho@city.makurazaki.lg.jp
★応募締切　1月31日(金)　※当日消印有効
★当選発表　当選者には総務課秘書広報係から連絡します。賞品を同係まで取りにきてください。
★問合せ　総務課秘書広報係 TEL72-1111(内線211)

枕崎弁『すんくじら狂句』

●兼題「手籠・てんご」

節ずいけ　あだまてんごで　親娘して　（春翁）
（唱）お婆んに聞だや　「いぞげ」ちも言い　（アメボケ）
鰹節が　手籠ん中で　添い寝しつ　（椿姫）
そんてごは　うんまかいもが　入っちょっけ　（おくみ）
降り立ちて　手籠たわわな　節の香
（唱）秋の市ん駅へ　おさいじゃしたなあ

iの字の　こんかつタ日　まくらざき　（愛立神）
市場ん衆の　魚ん匂で　父回想う　（蜜姫）
霜ぎゃし　昔の人はよかんべ　言うたもんじゃっどなぁ　（椿姫）
狂句会　めでためでたの　60回　（丸5年）
南天も　蜜柑も冴える　蒼い空　（赤黄青）
（唱）玄冬を呼ぶ　沖の白波

唱＝ちゃんサネ♪

謎掛け

「市場」とかけてなんととく、「バス」ととく、そのこころは？
※右ページ左下に答え

■来月号の兼題は「うま」、投稿は総務課秘書広報係
TEL72-1111　FAX72-9436

南溟館 イベント情報

開　9:00 ～ 17:00
※入館は 16:30 まで
休　毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問　TEL72-9998

わが家の逸品展

ご家庭で大切にされている珍しいものや貴重なものを展示します。

●会期 1月5日(日)～19日(日)
●会場 南溟館(第1展示場)
●観覧料 無料

上釜理恵子写真展「“パソ・デ・ゼブラ”ー歩んで、渡って。」

本市出身で、バルセロナで20年以上暮らし、フリーで各国の通訳、カメラアシスタントなど幅広く活躍し、現在は市内に在住する上釜理恵子さんの写真展を開催します。

●会期 1月5日(日)～23日(木)
●会場 南溟館(市民ギャラリー)
●観覧料 無料
●オープニングイベント
1月5日(日)　午後3時～
本人のトークや即興生演奏など

市文化協会 ～第10回新春イベント

「吟桜会」のみなさんによる津軽三味線の演奏と民謡のステージをお送りします。

●日時 1月26日(日)　午後2時～
●会場 南溟館(第2展示場)
●入場料 無料

鹿児島の美しい風景百景展

鹿児島市の天文館画廊で開催される公募展を枕崎で開催します。

●会期 2月1日(土)～16日(日)
●会場 南溟館 (第1展示場)
●観覧料 無料
●オープニングイベント
2月1日(土)　正午～　国画会会員　東條新一郎氏によるギャラリートーク＆作品解説

■年末年始の休館日
12月28日(土)～1月4日(土)